

Small Talk ナカノ暮らし

中野市在住という共通点で集まった初対面の4人。オトナになってはじめて知った中野市の楽しみ方やUターン・Jターンならではの発見を、ざっくばらんに話しました。



20代・30代で話してみた 「ナカノ暮らしのウラ話」

ワーキング&シェアスペース「まちのアトリエ」にて撮影

**Uターン・Jターン
そのきっかけは？**

徳竹 中野市役所の徳竹あすかです。中野市政策研究所に所属し、若者にUターンしてもらうにはどうしたらいいのかをチームで研究しています。今日は中野市に暮らす皆さんに、Uターン・Jターンしてみようと思ったんだらう、というお話をお聞きしたいと思っています。まずは自己紹介をどうぞ。

堀川 臨床工学技士の堀川毅よしです。実家のある上越地域では募集していない職種だったので、ご縁があって2005年に中野市の総合病院に就職しました。サックスを吹いて、「信州スバライズオーケストラ」というバンドでの演奏活動もライフワークです。

佐藤 佐藤真裕まひろです。カメラメーカーに勤めています。ジムに行って身体を鍛えることが好きです。アウトドア好きな父と釣りに行ったり、ラーメンを食べに行ったりしています。

宮澤 宮澤楓です。仕事は長野市の印刷会社のパートと、子ども向け造形教室のアシスタントをやっている。アトリエあそび屋という屋号で、親子向けの図工のワークショップをやっています。芸術系の学科を出て、卒業してからも作ることをやりたいな、と思いながら、なんとなく長野に帰ってきて、何も



消防団にも所属する関さん。「中野市は子育て情報が充実しています」と奥様の光代さん(長野市出身)。綾介くん(左)、敬介くんは快活な家でのびのび成長中

6 Hiroshi Seki

広告代理店 営業
せき ひろし
関 大志 さん

#イクメン #暮らしを楽しむ
#外ごはん #家庭菜園 #営業マン

profile

1981年生まれ。中野市西条在住。長野市にある広告代理店に長野電鉄で通勤。築120年の古民家をリノベーションし4世代で暮らす。男の子2人(2歳・10カ月)のパパ。家族と出かけたり、家で過ごす時間が一番の宝物。

「いましかできないことを考えたら
子どもと過ごす時間が最優先に」

高校時代はIT系技術職を目指し、日本大学工学部に入學。福島県で学生時代を過ごした関大志さん。就職先は代理店を志望し、福島→長野→東京とステップアップ。大手の博報堂で5年間経験を積み、2015年に結婚、帰郷する。長野に戻ると決めたときは「親や実家のこと、生まれ育った場所であることを考えて、実家で暮らす選択肢しかなかったですね」。

東京と長野での働き方の違いを尋ねると「東京は仕事の専門性が高いぶん、全体が見えづらい。長野は全体を見渡せるので成果が見えやすく、自分で時間の調整がしやすい。エンドユーザーやクライアントとコミュニケーションがとりやすいのも魅力です。東京では夜中に帰宅するのが普通でしたが、いまは定時に帰宅して、仕事が多いときは通勤中や子どもが寝た後にやっています。子どもと過ごす時間を最優先にしたいので、いましかできないことは何か、常に考えながら仕事しています」。代理店も含め、一般的にマスコミと呼ばれる業種は残



左/おじいちゃんの畑で立派な大根を収穫！ 右/小さい頃から外遊びが好きな関さん。自分で育てたハーブを使い、サラダやパスタを作るのが最近の楽しみ

業が多い印象があるが、仕事のスタイルによっては、関さんのように「残業ゼロ」も実現できるのだ。

長野県ならではの農業系の企画も丁寧に提案し、県下各地に自ら赴いている。関さん、中野では？「イベントなどを起爆剤に、地元の魅力的な農産物を県外へPRできるような仕掛けを提案してみたい」。

